

2023年度 つむぎふじみ野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について	
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.5	支援時間前と支援時間後に清掃する時間を設けることと、整理整頓を常に心がけておりますが、引き続き環境整備に努めてまいります。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	休憩時間に各自の事務仕事を進めることはある現状ではあります。業務分担をしていくことや各自がタスク管理等を行っていくことで、スタッフ全員が休憩をとれるよう努めてまいります。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.5	毎回貴重なご意見を頂戴しております。頂いたご意見は全スタッフで共有し改善点についても全スタッフで話し合い改善に向かえるよう努めてまいります。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.4	今年度は自ルームにてスタッフの資質向上、伝えるスキル向上のために勉強会を行う機会を設けています。また、園長大学の視聴を活用しての自主研修をできる機会は確保できている。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		「話し合いの時間がとれてきているが更に作ってほしい」「スタッフの仕事量の差がある」とのこと。必要な話し合いは定例にする仕組み作りを行うこと、また、業務分担は見える化を図る等対策を検討しました。今後も必要に応じて業務改善を図ってまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.5	共通のアセスメントツールを使用し、記入者以外の職員が見ても分かりやすいツールになっています。今後もツールの内容が適切か等は再度確認していきたく思います。
	Q8	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.3	6ヶ月ごとに支援目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするため、さらに短期間でのスモールステップの目標設定も加えるなど努めてまいります。
	Q9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.2	室内、園庭、散歩、調理、植物の世話など様々なプログラムを取り入れることや、併設の園児と関わること等、様々な人との関わりの中で本物の体験をより多くできるように組み立てております。
	Q10	プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	支援前に必ずプログラム内容について打ち合わせするとともに、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、職員間で役割分担や支援目標について確認しています。
	Q11	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.5	毎日、スタッフ間で支援の振り返りを行い、一人一人の小さな成長にも気付けるよう職員間で共有しております。また、関わり方や支援の仕方についても共通の対応ができるよう話しています。
	Q12	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.3	支援内容や保護者さまとお話した内容は正しく記録し、その後の支援へとつなげているよう今後も努めてまいります。
	Q13	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.5	6か月に一度定期的にモニタリングを行い、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるよう今後も努めてまいります。
	Q14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.0	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせる支援を行うよう今後も努めてまいります。
	Q15	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		「アセスメントツールがなく個人差が生じている」という点にて話し合いを行いました。アセスメント内容の一部を固定化し評価しやすい場面設定を行ってまいります。
	保護者様との連携について	Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.2
Q17		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.9	保護者さまへ関係機関連携加算の制度を説明し、了承を得て園訪問に伺っております。園での様子やつむぎでの様子を共有することや支援についてアドバイスを行うこともあります。今後も連携を広げていけるよう努めてまいります。
Q18		児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に努めているか。	3.9	個別に他事業所と連絡をとることや、訪問に伺うことで連携をはかっております。今後もさらに情報共有できるよう努めてまいります。
Q19		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.0	相談支援事業所とも連携し、就学後に利用される事業所へ情報の提供をできるよう努めております。セルフプランの方についても状況に応じて利用先の事業所と連携してまいります。
Q20		児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.5	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、必要に応じて情報共有をしております。
Q21		地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.1	会議の周知があった際は積極的に参加するよう努めております。
Q22		障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.4	保育園併設という環境を生かし、子ども同士お互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
Q23		事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.8	子育て支援センターと連携し、地域のお子さまや保護者さまが気軽にまい加えられるような行事を企画したいと検討しております。
Q24		保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	現在は毎回の振り返りの際に、お子さまとの関わり方の助言や、所属園やご家庭でできる支援を提案する等おこなっております。今後も保護者さまと関わりながら、保護者支援の向上に努めてまいります。
Q25		関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		「マンスリー支援時に担当する子どもが固定でないため、話を2重にしてしまったり、保護者対応に繋がりをもちにくい」という点を検討しました。伝達表を用いて確実に伝えていきます。

2023年度 つむぎふじみ野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.3	安心してご利用頂けるよう、契約時には分かりやすく説明するよう心がけております。利用開始後でも、ご不明な事があればいつでもお訊ね下さいとご説明させていただきます。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.2	通常は振り返りの時間や、お子さまの支援時間で保護者様が待機されている時間でご相談にも応じておりますが、まとまった時間でのご相談を希望される場合、「相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をおこなっております。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	4.2	つむぎカフェや待機スペースを利用して頂き保護者の方同士が気軽に話せる環境作りをしております。また、OB保護者さまを招待しての懇談会を開催いたしました。今後も企画検討してまいります。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.5	ご意見、ご提案を頂いた際にはその日のうちに共有し話し合いの機会を設けることで迅速な対応ができる体制を整えています。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.4	今後も日々の対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.2	今後も分かりやすい説明となるように、言葉だけでなく写真や動画を活用して伝えられるようにしてまいります。
	Q32	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.7	毎日昼礼と終礼で情報共有を行っております。休み明けのスタッフにも情報共有が徹底されるよう、業務日報への記載もしっかりと行い、確認を努めてまいります。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.2	新しいスタッフも把握しやすいよう、該当する事項が起こる前や、起こった際には必ず内容の確認を行うようにしています。今後定期的に読み合わせを行い、更に把握し対応できるように努めてまいります。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		「保護者さまに寄り添うこと、子どものよいところを沢山伝えていきたい」「保護者同士の交流を図れる機会を増やしたい」
	非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1
Q36		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.2	月一回、保育園と合同で、様々な状況を想定しての訓練を行っております。
Q37		虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.0	今後県主催の虐待防止研修にまい加していき、スタッフ間で意識を高めてまいります。
Q38		ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.3	毎日終礼時にヒヤリハットの有無を共有し、危険な場面の想定や事故に繋がらないよう対策の検討に努めてまいります。事例集としては事故防止委員会で作成頂いたものより話し合いを行っております。
Q39		非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		「つむぎ利用児や保護者がいるタイミングでの避難訓練の回数が少ない」 年間避難訓練日程が決まっているため、計画に沿って参加してまいります。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	3.7	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を多数頂戴しております。子どもの気持ちを真ん中に置き、そこから成長していくことができるような支援となるよう、スタッフ一同今後も努めてまいります。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	成長した様子や小さな変化を全スタッフで共有する時間を今後も作っていき、皆が実感し今後の指導に生かしていけるよう努めてまいります。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		「インクルーシブ保育についてルームスタッフと意見交換、理解共有をした。真剣な意見に刺激を受け日々の活力に繋がっている」

アンケート実施期間:2023年8月15日~9月5日

全回答数 : 11

つむぎふじみ野ルーム
施設長 佐藤 愛香